

八代市男女共同参画推進情報誌

Mi★Rai



みらい

第13号



お年寄り、
赤ちゃん、外国人…
あなたの方の周りに
配慮が必要な人は
いない？

気をつけて!!
犯罪から大切な人を
守るためには？



避難所の
リーダーは
男性だけで
いいかしら？



避難所での
炊き出し・そうじ
子どもの世話…
役割を押しつけないで
協力しましょう



ペットは
どうしよう…



「地震だ!!」

不安や恐怖のなかで
あなたにできることは…
いつ起きてもおかしくない地震。
備えはできていますか。

防災は、みんなの命 そして暮らしを守る力



準備よーし!!

避難バッグは
それぞれ準備



感染症・食中毒
予防は大事
ですね



mayu. co. ltd.

CONTENTS ● 誌上座談会「防災は命を守る最善の手段」 ● シリーズ「キラット☆さん」 ● おしらせ

防災は命を守る最善の手段 —熊本地震と避難所生活から見えたもの—

この座談会は、熊本地震発生後に、Mi★Rai編集部が、講演会やセミナーに参加し、避難所生活での出来事を市民に取材して、それをもとに構成したものです。

参加者

- ☆ミミさん (独身パート従業員 55歳・実母 80歳、飼猫のタマ)
- ☆ララさん (専業主婦 28歳、夫・公務員 33歳、長男・保育園児4歳、次男0歳)
- ☆イチオさん (会社員 39歳、妻・会社員 39歳、長男中学3年、長女小学6年、飼犬のポチ)
- ☆司会 (女性 46歳)

●避難所でご近所の力を 知った

司会：地震の時、どうして
いましたか？
ミミ：母は、「介護要支援
2」で、一人でしたら危な
かったと思います。避難時、
二人でご近所の方に、お世
話になりました。
ララ：2回とも夫が不在で、
家には4歳と0歳の息子と
いました。

●まちがえないでね、「避 難準備」の意味

ララ：地区の防災無線が
聞き取れず、私はスマホが
頼りでした。スマホを使え
ないお年寄りも、どうした
のかしら？もつと、大きな
地震が起きて、停電になり、
テレビも電話もだめ、イン
ターネットも使えなくなっ
たらと思つて心配。

おむつとミルクと着替え
をバッグに詰めるのが精いっ
ぱい。お隣に助けてもらつて、
車で自主避難しました。
イチオ：2回とも家族みん
なが家にいました。子ども
たちだけだったら、たぶん
右往左往したでしょう。

飼犬のポチを連れて、家
族全員で、とりあえず夜だ
け自主避難しました。

避難情報の種類

【強】避難指示 (緊急)

- ▶ 避難勧告の場合より、さらに災害発生のおそれが高くなっており、安全な場所に直ちに避難しましょう。

【中】避難勧告

- ▶ 災害発生のおそれがあるため、速やかに安全な場所に避難しましょう。

【弱】避難準備・高齢者等避難開始

- ▶ いつでも避難できるように準備しましょう。お年寄り、体の不自由な方や乳幼児をお連れの方は、避難を開始しましょう。

ミミ：避難準備、勧告、指
示という避難情報の意味が
わかりにくいですね。避難
準備情報は、避難の準備を
するだけじゃなく、お年寄
りや体の不自由な人は「避
難すること」なんです。

ララ：むずかしいですね。
とにかく避難情報が出たら、
私は子どもと、すぐ避難し
ます。

イチオ：赤ちゃんがいると
たいへんだなあ。避難用に、
カメラマンベストを、おすず
めしますよ。たくさんのポ
ケットがあつて、貴重品や
必需品が通り収納できる。
ララ：それは便利。子ども
にも作ってみます。

ミミ：お年寄りにもいい。
両手が空きますね。



●女性や子ども、体の不自由 な人も安心できる避難所を

司会：避難所生活は、どう
でしたか？

ララ：4歳の息子が走り回
るし、赤ちゃんがぐずるの
で車中泊しましたが、夜の
トイレは恐かったです。

ミミ：そうですね、危険で
すね。昼間でも、人目のない

ところで、女性や子どもに
接近して、不審な人がいた
ので、それとなく女性と子
どもに声をかけてあげまし
た。

ララ：授乳中に胸元をじつ
と見ている人がいて、意味
が悪くて。でも気にするの
も悪いかなと思つていまし
た。女性と子ども専用室が
あつたらいいのに。

ミミ：近くの温泉センター
が、避難所として、無料開
放してくれました。ここは
は、洋式トイレもあつて、年
寄りは助かりました。母は
和式トイレしかない避難所
には行きたがらないんです。
イチオ：近所の身障者の方
も避難所行きを辞退されま
した。身障者用トイレがあ
る避難所が増えるといいで
すね。

●ペットは家族、でもむず かしい問題

イチオ：地鳴りにおびえて、
地震後ずつと、ポチが鳴きつ
ぱなし。避難所では、犬を
怖がる人もいて、中学生の

息子と交代で外にいました。
〽️…我家の猫のタマも母が可愛がっていて、家族も同然なんです。でも、避難所は人が優先、動物アレルギーの人もいるし、連れては行けません。母もタマもかわいそいで。ペットもいつしよにいられる避難所が欲しいです。

●女性のリーダーが欲しい
イチオ…避難所で、「メシはまだか？」って、怒っている人がいたなあ。

〽️…奥の和室を占拠した家族がいました。テレビをつけ、ゲームで遊んだり、まるで民宿。誰も声をかけられず、私たちは床に段ボールを敷いて寝ました。

それからトイレが汚れていたの、別の家族に、「交代で掃除しましょうよ」と呼びかけたら、「いつたい何様？」って、すごい剣幕で怒られました。

ララ…私の避難先では、毎日トイレ掃除をしてくれた職員がいて、心から感謝し

ています。でも、職員だから当然だといつ人もいて……。
〽️…被災してないのに毎日、食料を取りにやってくる家族がいたし、生理用品を女性用トイレに置いたら、たくさん持ち出した人もいます。

〽️…避難所は、与えられたマニュアル通りにはいかないことばかり。臨機応変に行動することが大切ね。
イチオ…まとめ役のリーダーが必要でしたね。

ララ…女性には女性にしかわからないことがたくさんあるから、女性のリーダーにいてほしいです。

イチオ…60代なら仕事もリタイヤしてるし、性別に関係なく元気な人も多い。子育て世代の若いおかあさんたちにも、意見を出してほしいなあ。

〽️…講習会を行って、リーダーを資格制度にすればいいと思います。目印にバッジでもあれば、女性も手を挙げやすいし、声を発しやすい。

防災訓練や研修会などに男女ともに積極的に参加しましょう

ステップアップセミナーを開催しました



宮本理恵さん



隅川勝則さん

昨年10月27日と11月10日に男女共同参画推進ステップアップセミナー『わたしの防災力UP講座』を開催しました。やつしるママ応援部部長の宮本理恵さんからは御船町で行った支援活動のお話、防災アドバイザー隅川勝則さんからは地震の種類と特徴など地震の基礎知識、私たちが体験した熊本地震のこと、避難所での性差の違いによる配慮の必要性や、各地域の「自主防災組織」が作成する地区防災計画の重要性のお話がありました。

近くに住む住民同士が協力し合うのが「自主防災組織」です。八代市には、213の自主防災組織があり、地域の実情に合わせた活動ができるよう地区防災計画を作成しているところもあります。八代市では、各校区の防災訓練をはじめ、防災出前講座、ワークショップや地区防災計画作成の支援も行っています。まず、あなたの地域の防災計画を確認してみましょう。そして、男性、女性ともに地域の防災訓練や研修に積極的に参加して災害時に「できること」を増やしておきましょう。

2/12 防災ワークショップのお知らせ
(日) ハーモニーホール3階 10:00～

ママ防災士と考える
 防災をもっと身近に、
 もっと楽しく
 講師：柳原志保さん
 (歌うママ防災士)

熊本地震みんなどうしてた!?
 「災害と女性」について
 学ぼうPart3
 千丁ウィミズネットワーク

※ワークショップの詳細や申込方法は、(裏面)いっそDEフェスタ実行委員会事務局へお尋ねください

Mi★Rai
 誌上座談会を終えて

**みんなで
 生き抜くために**

非常時には、日頃からのご近所との付き合いが、お互いを助けます。そして、近くの方がい者、お年寄り、子どもたちの存在を知っておくことも大切です。

自分の命は、自分でしっかり守る。安全の確保にベストを尽くしましょう。そして、ご近所の人たちを、助けてください。もし、あなたが厳しい状況なら、決してあきらめず助けを求めましょう。

男性、女性、お年寄り、若者…それぞれに不自由さは違います。ワガママと片づけずお互いを尊重しあい、多様な意見をとり入れられる避難所をつくりましょう。

また、長引く避難生活においては、がんばりすぎないことが大切です。必要に応じて、遠慮なく支援を受け入れましょう。

つらいことを抱え込み、我慢すると、病気になってしまいます。つらいときには誰かに話を聞いてもらい、泣きたいときには思いきり泣きましょう。そうすることで、気持ちも落ち着きます。周りの人やボランティアにも協力してもらいましょう。

災害に備えて、防災訓練や備蓄品を揃えておくことは必要です。それだけでなく、みんなの命と暮らしを守るために大事なのが「日頃からイメージしておく」ことです。

災害発生！ そのとき自分は？ 家族は？ ご近所さんは？ 今、この瞬間からひとりひとりがイメージし、それを地域の人みんなで共有しましょう。

MiRai編集部が参加した
 講演会とセミナー

- 八代市博物館 学芸係長 鳥津亮二氏 講演「歴史から学ぶ～『熊本地震』から見つめ直す～」
- 男女共同参画推進ステップアップセミナー 「わたしの防災力UP講座」
- 熊本学園大学 社会福祉学部教授 花田昌宣氏 講演「熊本学園大学における避難所運営の中から見たこと」

シリーズ
キラット☆さん

今回のキラットさんは八代市立図書館館長の小出泰子さんです。



こいで やすこ
小出 泰子さん

小出さんは福岡県出身です。特別支援学校に勤務中、そこで同僚だった夫と結婚しました。第一子を妊娠中に退職し、夫の両親との同居を機に、実家のある小さな村に転居しました。これが小出さんの図書館人生のスタートです。

平成12年、福岡県内で初の村立図書館が新設され、図書館司書として採用。児童書の充実した図書館づくりに力を入れました。そこで取引のあった本の卸業者の人に誘われて、平成22年、門司図書館次長に就任。その後3人の子育てをしながら、八幡や黒崎など北九州の図書館で責任者として勤めてきました。

そして平成27年4月の八代

市立図書館指定管理者制度導入に伴い、館長として単身赴任中です。

***県外で単身赴任ってどうですか？**

夫は家事もやりますし、3人の子どもは学生で、家を離れているので問題ありません。

子どもが村外の幼稚園、小学校に通っていた頃は、夫と二人で送迎に苦しみました。が、中学、高校生になると、子どもも部活や塾で帰宅が遅く、なんとかやりくりできました。

***図書館は女性スタッフが多いようですが、働き方はどうですか？**

本館には15名の職員がいます。男女に関わらず、基本的に本人の希望で多様な勤務体系です。

産休や育休、介護休や時短など、働き方は1年毎に見直して変更可能です。キャリアアップを目指す人には、全力で支援します。

***小出さん自身が心がけていることは？**

図書館には図書の貸し出しのほか、利用者の調べもののお手伝いなどの役割もあり、市民に頼りにされるのが第一です。いかに市民に信頼され受け入れていただけるかをいつも考えています。

***具体的にどう変わりましたか？**
誰もが利用しやすいように開

館時間を長くしたり、講座のメニューを増やしたり、常に前年比実績アップを目指しています。遠方の人、来館できない人にも利用していただきたいと電子図書を導入しました。

***市民にお伝えしたいことがあります。**
ありましたら
スタッフは図書の専門職としてノウハウをたくさん持っています。お気軽にご相談ください。これからも市民に親しまれる図書館を目指します。

どこぞお立ち寄りください。

小出館長さんのおススメ本

上野千鶴子の
サバイバル語録



上野千鶴子/文藝春秋
人生・仕事・老後など、8つのテーマから成る語録集。「無からオリジナルは生まれぬ」「下り坂もまた新鮮である」など、重みのある言葉に納得したり吹き出したり。今を生きる全ての女性におすすすめです。

この靴、なげたい



中居真麻/徳間書店
女性の「靴」にまつわる「あるある」が詰まった短編集。登場人物が少しでも繋がっていたり、伏線もあつたりして一気に読めます。女性はもちろん男性にも読んでほしい一冊です。

虹の向こうの未希へ



遠藤美恵子/文藝春秋
「急いで高台に避難してください」。3・11時、自らの命を犠牲にして、防災対策庁舎から避難を呼びかけ続けた遠藤未希さん。そのお母さんが初めて心情を明かしました。

スタッフ編集後記

○2年連続で、男女共同参画の視点で防災を考える内容となりました。少しでもヒントになれば幸いです。(井山さおり)

○初めて避難所を体験しました。家屋の損壊はなかったのですが、大変心強く貴重な体験になりました。(賀久小夜子)

○「防災」で、「さりげない日常の大切さ」を再認識。多くの出会いに感謝。(田口美鈴)

○今回の編集にあたり、いっぱいしゃべり、たくさん研修した。新たな出会い・発見。まだまだ未完な私。(羽多野文子)

○「ないと思うな運と災難」とよく祖母が言っていたのを思い出します。(山本真弓)

男女共同参画推進事業

いっそDE
フェスタ2017

- とき 平成29年2月12日(日)
- ところ やつしろハートホール
*入場無料 *託児あり(要予約)

- 内容
10:00 防災のワークショップなど
11:00 ハンドメイド品フリーマーケット
13:30 講演
「キッチンからはじまる家族の絆」
講師 料理研究家
コウケンテツさん



- 問い合わせ
いっそDEフェスタ実行委員会
事務局(人権政策課) ☎0965-30-1701